

# 万博利用のIR誘致やめよ

## 大阪市議会 井上政調会長が主張

10月26日の大阪市議会本会議で日本共産党の井上浩政調会長は、松井府政が進める2025年の万博誘致を利用した、カジノを核とした統合型リゾート(IR)や関連の大型開発問題で質問しました。

### 1千億円にも上る巨大な開発に

状況や市民の暮らしの実態からして、これだけ負担できるのか」とただしました。

井上氏は、ことし3月議会で吉村市長は鉄道や道路などの基盤整備はI

R事業者が負担すると答弁したが、万博誘致構想の中に鉄道整備費用640億円が入っているのはおかしいと迫りました。

井上氏は、東日本大震災当時、震源地から770キロ離れた府咲洲庁舎

一般質問で井上氏は、別区の住民投票を行うと吉村市長や松井一朗知事

「総合区の先行導入も公言し、来年2月議会にありうる総合区が始まるまでの準備期間に、特

案を提出する意向を示していることは「到底容認できない」と強調しました。

## 「総合区か特別区か」の二者択一 制度いじりはやめるべき

「鉄道整備費はわずか半年間の万博開催のためというよりも、IRのためではないか」と追及。「夢洲を舞台にした万博

が被災したことや、南海くさん集める施設を造ることは防災上も無謀だ。夢洲が浸水する可能性も指摘されているとし、

誘致をてこにした巨大開発の推進。無駄な大型開発はやめ、市民の暮らしを守ることに税金を振り向けるべき」と主張しました。

発の推進。無駄な大型開発はやめ、市民の暮らしを守ることに税金を振り向けるべき」と主張しました。



井上政調会長

井上氏は、府の万博誘致「基本構想素案」で示された最低の会場建設費1200億円で、うち大阪府負担が200億円、さらに鉄道整備費はじめ関連事業費730億円や誘致候補地の人工島「夢洲」(此花区)の埋め立て工事前倒しなどで、1千億円にも上る巨大プロジェクトだと指摘。「財政

吉村洋文市長は、万博で6兆円の経済波及効果があり、IRとともに行うことで相乗効果があるなどと答える一方、財政負担については明言しませんでした。

井上氏は「誘致計画を立てること自体、楽観からきている、かつての大阪市も、市長のような理由付けで巨大開発にのめり込んでいったことを忘れてはならない」と警告しました。

井上氏は「誘致計画を立てること自体、楽観からきている、かつての大阪市も、市長のような理由付けで巨大開発にのめり込んでいったことを忘れてはならない」と警告しました。

府は10月28日、2025年の国際博覧会(万博)誘致に向けた基本構想案を有識者の検討会議に示し、了承されました。政府に提出し、来春までに閣議了解を得たいとしています。

・長寿への挑戦」とし、会場候補地は大阪湾の人工島・夢洲(大阪市此花区)。会期は25年5〜10月の半年間で、約3千万人の来場者数を想定しています。

さらに運営費は690〜740億円、会場までの新たな鉄道整備、地下鉄中央線の延伸などで640億円、夢洲の埋め立て工事50億円、道路改良40億円などを見込んでいます。

万博誘致について安倍晋三首相は9月の衆院本会議で維新の馬場伸幸幹事長議員の質問に対し、「大阪府が作成する基本構想の内容をうかがい、検討していく」と前向きな姿勢を示しています。

## 開催費用は2千億円に

### 大阪府 万博基本構想を決定

府は10月28日、2025年の国際博覧会(万博)誘致に向けた基本構想案を有識者の検討会議に示し、了承されました。

### カジノも想定して

健康長寿がテーマ

開催テーマは「人類の健康

開催費用2千億円のうち会場建設費を1200〜1300億円程度と試算。国や地元自治体、経済会などで必要な資金を確保するとしています。

さらに運営費は690〜740億円、会場までの新たな鉄道整備、地下鉄中央線の延伸などで640億円、夢洲の埋め立て工事50億円、道路改良40億円などを見込んでいます。

万博誘致について安倍晋三首相は9月の衆院本会議で維新の馬場伸幸幹事長議員の質問に対し、「大阪府が作成する基本構想の内容をうかがい、検討していく」と前向きな姿勢を示しています。

井上氏は、特別区設置大阪市の廃止・解体が昨年5月の住民投票で否決された結果を真しに受け止め、「都構想」ありきで「総合区か特別区か」の二者択一を迫るような「制度いじり」はやめるべきと主張。「今、市民が必要としているのは、『上からの統治』ではなく、『下からの自治』であり、『政治の自身』を改善してほしいということ、肝に銘じるべきだ」と吉村市長の政治姿勢を批判しました。